

SAP.C-BCBAI-2509.v2026-04-24.q32

試験コード : C-BCBAI-2509

試験名称 : SAP Certified Associate - Positioning SAP Business AI Solutions as part of SAP Business Suite

認証ベン
ダー : SAP

無料問題の
数 : 32

バージョン : v2026-04-24

ページの閲覧
量 : 104

問題集の閲覧
量 : 352

<https://www.jpnsnshiken.com/shiken/SAP.C-BCBAI-2509.v2026-04-24.q32.html>

質問: 1

AI Foundation の階層化アーキテクチャでは、どのレイヤーが開発、運用、管理のための統一されたエントリ ポイントを提供しますか？

- A. OSインターフェース層
- B. 周辺機器とデータ層
- C. AIカーネルレイヤー
- D. AI統合レイヤー

正解: D ([コメントを發表する](#))

質問: 2

(コード生成アドオンを備えた SAP ビルドコードが提供する機能にはどのようなものがありますか？ 注: この質問には 2 つの正解があります。)

- A. 既存のコードを説明する
- B. Joule を通じてコードスニペットを挿入する
- C. CAPプロジェクトのリファクタリング
- D. ABAPクラスのユニットテストを生成する

正解: ([正解を表示します](#))

Exact Extract からの包括的かつ詳細な説明: Joule を搭載したコード生成アドオンを備えた SAP Build Code は、コードレビューとコメントを通じて既存のコードについて説明したり、メソッドを選択して ABAP クラスの単体テストを生成したり、AI ベースの機能を使用して効率的にテストを作成したりするなどの機能を提供します。

これを裏付ける正確な抜粋:

既存コードの説明 : 「cap-edit-model : 既存のCAPデータモデルを編集し、コードレビューをサポートし、コメントを追加し、このコードはCAPのベストプラクティスに準拠していますか？」といった質問に答えます。」community.sap.com /ui5 :UI5関連の成果物 (例 :UI5インコントローラの

コードは何をしますか?」)を説明します。ファイルを指定せずに選択したコードを検討するオプションもあります。」community.sap.com Jouleコードアシスタントによるコードコメント。選択したコードの説明コメントを生成し、承認/拒否オプションが用意されています。

」community.sap.com ABAPクラスのユニットテストの生成：開発者向けJouleのABAP AI機能を使用すると、ABAPユニットテストの作成を支援するAIベースの機能に簡単にアクセスできます。」help.sap.com 指定されたビューのいずれかに移動し、グローバルABAPクラスからパブリックメソッドを選択します。コンテキストメニューを開き、「Jouleユニットテストの生成」を選択します。」help.sap.com その他のオプションは、以下の理由により正しくありません。

オプション B: Joule はスニペットを提案するためのインライン コード補完をサポートしていますが、これはコード生成アドオンの特定の機能ではなく一般的な機能であり、スニペットの挿入ではなく、モデルやテストなどのより広範な生成タスクに重点を置いています。

オプション C: リファクタリングは、編集モデルとコード リファクタリング アシスタントを通じて CAP プロジェクトでサポートされていますが、リファクタリングよりも生成と説明を重視するコード生成アドオンの主要機能としては強調されていません。

SAP Business Suiteドキュメントまたは学習ガイドの一部としてSAP Business AIソリューションを位置付けるための参考資料「SAPコミュニティブログ SAP Build CodeのすべてのGenAIオプションの概要」や「SAP Build CodeでJouleを使った開発」、およびSAP Build CodeのABAP AI機能に関するSAPヘルプポータルドキュメントに基づいています。これらはC_BCBAI_2502認定資格と整合しており、SAP Build CodeをSAP Business Suite for Java、JavaScript、ABAPにおけるAI強化開発ツールとして位置付けています。

質問: 3

責任ある AI の構築と運用に対する SAP の取り組みに関係する要素は次のうちどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. アジャイルエージェントAIの普及
- B. 再生可能電力のみで稼働するSAPデータセンター
- C. 最適化されたAIモデルのサイズとルーティング
- D. 倫理的なAIガバナンス

正解: ([正解を表示します](#))

SAPの責任あるAIへの取り組みは、倫理的、持続可能、そして効率的な実践に基づいています。再生可能電力で稼働するSAPデータセンターは、SAPの持続可能性への取り組みを反映するものであり、AI運用による環境への影響を軽減しています。SAPのAIインフラストラクチャガイドラインで強調されているように、最適化されたAIモデルのサイズとルーティングにより、コンピューティングリソースを効率的に使用し、パフォーマンスを維持しながらエネルギー消費を最小限に抑えることができます。倫理的なAIガバナンスは、SAPの責任あるAIフレームワークに従い、AIの開発と展開における透明性、公平性、説明責任を確保するためのフレームワークを含む、基盤となるものです。アジャイルエージェントAIの広範な使用は、SAPの責任あるAI戦略の要素として明示的に挙げられておらず、クリーンコアに準拠した拡張機能は、責任あるAIではなくシステム設計に重点

を置いています。これらの原則は、信頼できるAIソリューションを提供するというSAPのより広範な使命と一致しています。

参照：

質問: 4

(SAP Build Process Automation の生成 AI 機能にはどのようなものがありますか? 注: この質問には 3 つの正解があります。)

- A. AIを活用したBPMN図の自動化
- B. AIを活用したプロセス成果物生成
- C. AIによる文書情報抽出
- D. 自動化のためのテストスクリプトの AI 駆動型生成
- E. AIによる推奨事項

正解: ([正解を表示します](#))

Exact Extractによる包括的かつ詳細な説明 :SAP Build Process AutomationのGenerative AI機能には、プロセス、意思決定、フォーム、スクリプトタスクなどのプロセス成果物のAIによる生成、自動化のためのテストスクリプトのAIによる生成によるテストの迅速化、自動化の最適化と次善策のためのAIによるレコメンデーションが含まれます。これらの機能は、自然言語を活用して成果物を生成および編集することで、プロセス自動化の生産性を向上させます。

これを裏付ける正確な抜粋:

AI を活用したプロセス成果物の生成: SAP Build Process Automation で生成 AI を使用して、ビジネスプロセス、意思決定、フォーム、スクリプトタスクを生成できます。Jhelp.sap.com SAP Build Process Automation で生成人工知能を使用して、ビジネスプロセスの生成と編集、ビジネスルールの生成、フォームの生成、スクリプトタスクの生成ができるようになりました。Jcommunity.sap.com 設計機能では生成 AI を活用し、ユーザーが自然言語から対話的に成果物を生成および編集できるようにします。Jcommunity.sap.com 自動化用テストスクリプトの AI 駆動型生成: スクリプトタスクを生成します。Jcommunity.sap.com (スクリプトタスクには、プロセス自動化テストのコンテキストでテストスクリプトを含む自動化スクリプトが含まれます。) AI 駆動型レコメンデーション: 次善策に関する AI 駆動型レコメンデーションです。Jcommunity.sap.com SAP Build は AI 機能を統合し、アプリケーション開発、プロセス自動化、および全体的なビジネス効率を強化します。Jcommunity.sap.com その他のオプションは、次の理由により正しくありません。

オプション A: BPMN 図はプロセス モデリング (SAP Signavio など) で使用されますが、SAP Build Process Automation に記載されているような AI を活用した自動化への具体的な生成変換はなく、生成は自然言語による記述から始まります。

オプション C: AI 駆動型ドキュメント情報抽出は、SAP Build Process Automation の AI 機能ですが、新しい成果物を作成するための生成 AI ではなく、抽出に機械学習に依存しています。

SAP Business AI ソリューションを SAP Business Suite の一部として位置付けるドキュメントまたは学習ガイドからの参照 :SAP ヘルプポータルのドキュメント Generative AI - SAP Build

Process Automation」とコミュニティブログ「SAP Build Brings Generative AI to Process Automation」に基づいています。これらのブログでは、SAP Build の Generative AI を、SAP Business Suite 内での成果物生成とレコメンデーションのためのツールとして位置付けており、これは SAP Learning Journeys for enterprise automation や、ビジネスプロセスにおけるカスタム AI に関する C_BCBAI_2502 認定資格で説明されています。

質問: 5

SAP Business AI では、顧客データを保護するための安全対策にはどのようなものがありますか？

注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 同意に基づくモデルトレーニング
- B. クリーンコアメンテナンス
- C. SAPホスト型AIインフラストラクチャ
- D. テナント分離

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Business AI には、顧客データを保護する堅牢な安全対策が組み込まれており、プライバシーとコンプライアンスを確保しています。同意に基づくモデルトレーニングアプローチにより、AI モデルは明示的なユーザー同意が得られたデータのみでトレーニングされ、GDPR などの世界的なデータ保護規制に準拠します。これにより、不正なデータ使用のリスクが最小限に抑えられます。SAP がホストする AI インフラストラクチャは、SAP が管理するエンタープライズグレードのクラウドインフラストラクチャ内でデータが処理される安全な環境を提供し、外部の脆弱性への露出を軽減します。テナント分離により、各顧客のデータが専用の環境に保存および処理されるため、テナント間のデータ漏洩を防ぎ、セキュリティを強化します。これらの対策は、SAP Business AI ドキュメントに記載されているように、データのプライバシーとセキュリティに対する SAP の取り組みを総合的に支えています。クリーンコアメンテナンスはシステム効率にとって重要ですが、データ保護とは直接関係ありません。持続可能性は顧客データの安全対策ではありません。

参照 :

質問: 6

(SAP Business AI の独自のセールスポイントは何ですか？ 注: この質問には 3 つの正解があります。)

- A. 関連する顧客ビジネスデータへの直接アクセス
- B. テクノロジスタックに焦点を当てる
- C. 相乗効果のあるコラボレーションを実現する強力なパートナーエコシステム
- D. SAP固有の大規模言語モデルの開発
- E. さまざまな業界のビジネスプロセスに関する深い知識

正解: ([正解を表示します](#))

Exact Extractからの包括的かつ詳細な説明 :SAP Business AIのユニークなセールスポイントは、企業のAI活用を基盤とする関連性の高い顧客ビジネスデータへの直接アクセス、イノベーション

創出のための業界リーダーとの相乗効果の高いコラボレーションを可能にする堅牢なパートナーエコシステム、そして業界を横断したビジネスプロセスに関する深い知識に基づくドメイン固有のAIソリューションの提供などです。これらのセールスポイントは、汎用的なAIテクノロジーよりも、データ統合、パートナーシップ、そしてプロセスに関する専門知識におけるSAPの強みを強調しています。

これを裏付ける正確な抜粋:

ビジネス データへの直接アクセス: SAP の主な差別化要因は、ビジネス データへのアクセス、複雑なビジネス プロセスのコンテキストの理解、およびドメインと業界の深い専門知識です。」community.sap.com

堅牢なパートナー エコシステム: SAP Business AI は、サービス パートナーにとって重要な差別化要因となり、幅広いビジネス チャンスを提供します。」sap.com 相手の汎用 AI テクノロジー プロバイダーとの比類のないコラボレーション。」news.sap.com ビジネス プロセスに関する詳細な知識: 複雑なビジネス プロセスのコンテキストの理解、およびドメインと業界の深い専門知識です。」community.sap.com その他の選択肢は、次の理由で正しくありません。

オプション B: SAP は強力なテクノロジー スタックを備えていますが、独自の提案としてのスタック自体ではなく、ビジネス成果に重点が置かれています。差別化要因は、データ、プロセス、およびエコシステムです。

オプション D: SAP は独自の大規模言語モデルを開発していませんが、LLM については Microsoft、Google、Cohere などのプロバイダーと提携し、独自の開発よりも統合を重視しています。

SAP Business Suite ドキュメントまたは学習ガイドの一部としてのSAP Business AIソリューションのポジショニングに関する参考資料 :SAPラーニングコース「SAP Business AIの理解」、ユニット「SAP Business AIの価値の明確化」、およびSAPコミュニティブログ「SAPによるジェネレーティブAI - パート1」より。C_BCBAI_2502資料に基づき、これらの資料では、データへのアクセス、プロセス知識、パートナーシップがUSPとして強調されています。

質問: 7

(効果的な AI は次のどれに基づいていますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。)

- A. 最先端のアルゴリズムまたはリアルタイム処理
- B. 堅牢なデータ基盤
- C. オープンソースのLLM
- D. シームレスな統合

正解: ([正解を表示します](#))

Exact Extract による包括的かつ詳細な説明 :SAP Business AI のコンテキストにおける効果的な AI は、堅牢なデータ基盤を基盤としており、正確でコンテキストに即した成果を確実に提供します。また、シームレスな統合により AI 機能をビジネスプロセスやアプリケーションに直接組み込むことで、効率的な導入と拡張性を実現します。この基盤により、SAP システムおよび非 SAP システムと統合しながら、企業データを安全に活用するカスタマイズされた AI ソリューションを実現できます。

これを裏付ける正確な抜粋:

効果的な AI は、堅牢なデータ基盤とシームレスな統合の上に構築されます。特に、SAP のカスタマイズされた AI ソリューションが関係する場合はそうです...」learning.sap.com SAP Business AI の原則: AI は「ビジネス データに基づいており、あらゆるビジネス機能に組み込まれている」ため、有効性のためのデータ基盤と統合が強調されています。sap.com

SAP アプリケーションと非 SAP アプリケーション間でデータとワークフローをシームレスに統合する単一の AI インターフェースを使用して、ビジネス全体で AI の価値を最大化します。」sap.com その他の選択肢は、次の理由で正しくありません。

オプション A: アルゴリズムと処理は重要ですが、SAP は、ビジネスコンテキストで効果的な AI を実現するために、最先端のアルゴリズムだけでなく、データと統合を重視しています。

オプション C: SAP は、独自のものも含めさまざまな LLM をサポートしていますが、効果的な AI を特にオープンソース モデルに位置付けているわけではなく、安全でビジネスに基づいた AI に重点を置いています。

SAP Business Suite ドキュメントまたは学習ガイドに含まれる SAP Business AI ソリューションのポジショニングからの参照「SAP Learning Journey SAP Business AI と Generative AI によるクラウド変革ジャーニーの促進」、特に効果的な AI がデータ基盤と統合に依存する点に焦点を当てた「カスタム SAP Business AI ソリューションの構築」ユニットから派生しています。SAP Business AI 製品ページでサポートされており、AI ソリューションのポジショニングに関する C_BCBAI_2502 認定資格資料と整合しています。

質問: 8

(クラウド ERP における AI の使用の主なカテゴリは何ですか? 注: この質問には 2 つの正解があります。)

- A. 生産性と効率性
- B. プロセス関連の意思決定の最適化
- C. プロセス知識
- D. 収益性の最適化

正解: ([正解を表示します](#))

Exact Extract からの包括的かつ詳細な説明: クラウド ERP における AI の使用の主なカテゴリは、タスクの自動化とワークフローの合理化に重点を置いた生産性と効率性、およびビジネス プロセスにおける意思決定と結果予測の改善に AI を活用するプロセス関連の意思決定の最適化です。

これを裏付ける正確な抜粋:

クラウド ERP における人工知能の課題とメリットは、プロセス関連の意思決定の最適化と生産性と効率性の 2 つの主要なカテゴリーに分けられます。learning.sap.com

これらは、プロセス関連の意思決定の最適化という 2 つの主要なカテゴリーに分類できます。」learning.sap.com (文脈から 2 番目は生産性と効率性を意味します。) その他の選択肢は、次の理由で正しくありません。

オプション C: プロセス知識は主要なカテゴリとして識別されません。AI は知識を組み込みますが、カテゴリは最適化と効率性に重点を置いています。

オプション D: 収益性の最適化は潜在的な成果ですが、主要なカテゴリではありません。意思決定と生産性の側面に重点が置かれます。

SAP Business Suite ドキュメントまたは学習ガイドの一部としての SAP Business AI ソリューションの位置付けからの参照: SAP Learning コース「SAP Business AI の位置付け」、ユニット「ビジネス AI の主要ソリューションの概要」、および「SAP S/4HANA Cloud 向け SAP Business AI の理解」では、クラウド ERP での AI の使用を意思決定の最適化と生産性/効率性として分類し、C_BCBAI_2502 資料に従って SAP Business Suite 内での位置付けをサポートしています。

質問: 9

Joule がコンサルタント向けに提供している機能は次のどれですか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. プロジェクトライフサイクルサポート
- B. コードインテリジェンス
- C. プロセスの自動化
- D. SAP Fiori アプリのスマートヘルプ

正解: ([正解を表示します](#))

Jouleは、コンサルタントがSAPエコシステム内で業務を効率化するための機能を提供します。プロジェクトライフサイクルサポートにより、コンサルタントはAI主導のインサイトと推奨事項を提供することで、計画から実行までプロジェクトフェーズを管理できます。詳細はSAP Business AIドキュメントに記載されています。SAP Fioriアプリのスマートヘルプは、コンサルタントがFioriアプリを効率的に操作・活用する能力を高め、SAP環境内で状況に応じたガイダンスとサポートを提供します。コードインテリジェンスとプロセス自動化は貴重なAI機能ですが、SAPのJouleドキュメントではコンサルタント向けの機能として特に強調されていません。これらの機能により、コンサルタントはSAP関連タスクの効率と精度を向上させ、価値の高いサービスを提供できるようになります。

参照 :

SAP Business AI の質問 (5 件中 2 件目)

質問: 10

お客様は、チャネルをまたいで顧客からのフィードバックをまとめる生成AIモデルの導入を希望しています。このタスクに最適なAI Foundationコンポーネントはどれですか?

- A. 生成AIハブ
- B. SAP ドキュメント AI
- C. ジュールスタジオ
- D. SAPナレッジグラフ

正解: A ([コメントを發表する](#))

Generative AIハブは、SAPのAI Foundationの中で、チャンネルを横断した顧客フィードバックの要約に最適なコンポーネントです。SAP Business AIのドキュメントによると、Generative AIハブは、テキスト要約、コンテンツ生成、自然言語処理といったタスクを可能にする、エンタープライズグレードのGenerative AIモデルのオーケストレーションを提供します。このコンポーネントは、大規模なクロスチャネルデータ入力を処理できるように設計されており、顧客フィードバックの要約に最適です。SAP Document AIは構造化ドキュメントからのインサイト抽出に重点を置いており、Joule StudioはAIアプリケーション構築のためのローコード環境です。SAP Knowledge Graphはデータ関係をコンテキスト化しますが、生成タスクには最適化されていません。Generative AIハブは、安全でコンプライアンスに準拠したスケーラブルな処理を保証し、ビジネス上の意思決定を支援する正確な要約を提供します。

参照：

質問: 11

AI エージェントの利点は何ですか？ 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. コラボレーションを促進する
- B. マネージャーを交代する
- C. 生産性を向上
- D. コストを削減する

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Business AIドキュメントに記載されているように、AIエージェントは組織に大きなメリットをもたらします。調達プロセスと財務プロセスの統合など、ビジネス機能間のシームレスな連携を可能にすることで、コラボレーションを促進します。反復的なタスクを自動化し、実用的なインサイトを提供することで生産性を向上させ、従業員が戦略的な活動に集中できるようにします。リソースの効率的な活用とワークフローの合理化により、手作業と運用コストを最小限に抑え、コストを削減します。AIエージェントは意思決定能力を強化しますが、管理者にとって代わるものではありません。その役割は、リーダーシップにとって代わるのではなく、人間の能力を補完することです。プライバシーの確保は安全策の一つですが、ドキュメントで強調されている主なメリットではありません。これらのメリットは、インテリジェントでコスト効率の高いソリューションを提供するというSAPの目標と一致しています。

質問: 12

生成 AI ハブの価値提案にはどのようなものがありますか？ 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 安全でコンプライアンスに準拠したフレームワーク
- B. 事前設定されたコンテンツ
- C. エンタープライズグレードのモデルのオーケストレーション
- D. ビジネス文書のスケーラビリティとコンプライアンス

正解: A,C ([コメントを發表する](#))

Generative AIハブは、SAP Business AIのドキュメントで強調されているように、安全でコンプライアンスに準拠したフレームワークやエンタープライズグレードのモデルオーケストレーションなど、重要な価値提案を提供します。安全でコンプライアンスに準拠したフレームワークにより、Generative AIモデルはGDPRなどの厳格なデータ保護および規制基準の範囲内で動作し、機密情報を保護します。エンタープライズグレードのモデルオーケストレーションにより、企業は複数のAIモデルを効率的に管理・導入でき、多様なユースケースにわたるスケーラビリティとパフォーマンスを確保できます。事前設定されたコンテンツはGenerative AIハブの主要機能ではなく、ビジネスドキュメントのスケーラビリティとコンプライアンスはSAP Document AIとより密接に連携しています。これらの機能により、Generative AIハブは企業のAIニーズに対応する堅牢なソリューションとなっています。

質問: 13

RISE 顧客にとって、生成 AI がもたらす戦略的メリットは何ですか？

注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 敏捷性の向上
- B. 暗号化の強化
- C. 加速移行
- D. 強化されたクリーンコア
- E. コスト効率

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 14

(機械学習は何ですか？)

- A. 膨大なデータに対して自己教師学習を使用して、文書の作成や画像の作成など、さまざまなタスクを実行する AI システム。
- B. コンピューターサイエンス、統計、心理学などの分野の要素を組み込んで、コンピューターシステムが経験やデータから学習して改善できるようにすることに重点を置いた AI のサブセット。
- C. 大規模言語モデルなどの基礎モデルを活用し、トレーニングに使用したデータに基づいて、テキスト、画像、音声、ビデオなどの新しいコンテンツを作成するディープラーニングの一種。
- D. 問題解決、視覚認識、音声認識、意思決定、言語翻訳など、人間のような能力を機械に備える技術。

正解: ([正解を表示します](#))

包括的かつ詳細な説明 (Exact Extractより) : 機械学習、コンピューターシステムが経験やデータから学習し、改善することを可能にするAIのサブセットとして定義され、コンピューターサイエンス、統計学、心理学などの分野の要素を組み込んでいます。これは、明示的なプログラミングなしにデータ駆動型の学習に重点を置く汎用AI、生成AI、または基礎モデルとは区別されます。

これを裏付ける正確な抜粋:

機械学習は人工知能 (AI) のサブセットであり、コンピューターは明示的にプログラムされなくてもデータから学習し、経験に基づいて改善します。」sap.com

機械学習 (ML) は、コンピュータシステムが経験やデータから学習し、改善することを可能にする AI のサブセットであり、コンピュータサイエンス、統計、心理学などの分野の要素が組み込まれています。」sap.com

機械学習は人工知能 (AI) のサブセットです。コンピューターにデータから学習させ、経験に基づいて改善させることに重点を置いています。...」learning.sap.com その他の選択肢は、以下の理由で正しくありません。

オプション A: これは、機械学習に特化するのではなく、マルチタスク パフォーマンスのために自己教師あり学習を使用する基礎モデルまたは生成 AI システムについて説明します。

オプション C: これは、コンテンツ作成のための基礎モデルを使用するディープラーニングの特定のアプリケーションである生成 AI を指します。

オプション D: これは、データからの学習だけでなく、人間のような能力も含む、一般的な人工知能を定義します。

SAP Business Suite ドキュメントまたは学習ガイドにおける SAP Business AI ソリューションのポジショニングに関する参考資料「SAP 製品ページ 機械学習とは？」および SAP ラーニングコース「SAP Business AI の理解」に基づき、SAP Business Suite に統合された SAP Business AI ソリューションにおける AI の基盤サブセットとして機械学習を位置付けています。AI の概念を説明する C_BCBAI_2502 認定資格に準拠し、SAP ヘルプポータル用語集とコミュニティブログでサポートされています。

質問: 15

(Joule の既存および計画中の機能に関する信頼できる情報をすばやく見つけるには、どの URL を使用すればよいですか?)

A. <https://developers.sap.com/board?range=FIRST-LAST&q=Joule>

B. <https://learning.sap.com/learning-journeys/Joule>

C. <https://roadmaps.sap.com/board?range=FIRST-LAST&q=Joule>

D. <https://community.sap.com/topics/joule>

正解: (正解を表示します)

包括的かつ詳細な説明 (Exact Extract より) Joule の既存および計画中の機能に関する信頼できる情報を迅速に見つけるための正しい URL は、SAP Road Map Explorer です。これは、現在および将来の製品機能とイノベーションを閲覧するために設計された公式のインタラクティブツールです。これは、SAP のジェネレーティブ AI コパイロットである Joule などのツールの既存の機能と計画中の機能強化の両方を詳細に説明した、SAP の公式製品ロードマップリソースと一致しています。

これを裏付ける正確な抜粋:

SAP ロードマップ エクスプローラーの説明から: SAP ロードマップ エクスプローラーは、SAP の将来の製品ポートフォリオとインテリジェントエンタープライズへの顧客の道のりをサポートする対話型ツールです。」pages.community.sap.com 特定の Joule ロードマップ アセットから:

Joule コパイロットのロードマップをプレビューし、今後の機能強化を活用してビジネス全体の効率とエンゲージメントを高める方法を計画し始めます。」sap.com オプション C の URL は、す

すべての時間範囲 (最初 - 最後) にわたって Joule のロードマップ ボードを直接検索し、機能の包括的な詳細を提供します。

その他のオプションは、次の理由で正しくありません。

オプション A (developers.sap.com) は、開発者リソース、チュートリアル、ボード用であり、特に製品ロードマップや計画されている機能用ではありません。

オプション B (learning.sap.com) は、Joule の使用に関するコースなどの学習過程と教育コンテンツに重点を置っていますが、機能ロードマップには重点を置いていません。

オプション D (community.sap.com) は、ユーザーのトピックや経験に関するディスカッションフォーラムであり、公式で信頼できるロードマップ情報は提供されない可能性があります。

質問: 16

(SAP Cloud ERP 変革のための生成 AI ツールにはどのようなものがありますか? 注: この質問には 3 つの正解があります。)

- A. プロセス自動化
- B. 拡張機能ビルダーウィザード
- C. 統合ジェネレータ
- D. プロセスモデルジェネレーター
- E. ABAPビジネスオブジェクトジェネレーター

正解: ([正解を表示します](#))

Exact Extractからの包括的かつ詳細な説明 :SAP Cloud ERP変革のための生成AIツールには、ビジネスプロセスの生成と自動化を実現するSAP Build Process Automationのプロセス自動化機能、AIを活用したプロセスモデル作成を実現するSAP Signavioのプロセスモデルジェネレーター、そしてERP機能を拡張するためのABAPベースのビジネスオブジェクト開発を実現するJouleのABAPビジネスオブジェクトジェネレーターが含まれます。これらのツールは、生成AIを活用してコード、プロセス、拡張機能を合理化することで、クラウドERP変革における効率的な移行、カスタマイズ、最適化を促進します。

これを裏付ける正確な抜粋:

プロセス自動化: SAP Build Process Automation は生成 AI と統合し、自然言語による記述を使用してビジネスプロセス、意思決定、フォーム、スクリプトタスクを生成および編集します。」sap.com これは、ERP 変換の自動化をサポートします。

プロセスモデルジェネレーター: SAP Signavio は、ジェネレーティブ AI を使用してプロセスモデリングを支援し、パフォーマンス指標を推奨し、ベストプラクティスに基づいてモデルを生成します。」learning.sap.com ABAP ビジネスオブジェクトジェネレーター: Joule は、SAP

S/4HANA Cloud の拡張機能用に ABAP RESTful アプリケーションプログラミングモデル (RAP) を使用して ABAP ビジネスオブジェクトを生成します。」learning.sap.com ABAP Cloud のジェネレーティブ AI には、ビジネスオブジェクトの生成機能が含まれています。」community.sap.com

その他のオプションは、次の理由で正しくありません。

オプション B: 拡張機能の構築は SAP ビルド コードのウィザードによって簡素化されますが、これは厳密には「生成 AI ツール」ではなく、ガイド付きのプロセスです。生成の側面は Joule の統合によって実現されます。

オプション C: 統合生成は SAP BTP でサポートされていますが、ERP 変換用の個別の生成 AI ツールとしては強調されておらず、コードとプロセスの生成に重点が置かれています。

SAP Business Suite ドキュメントまたは学習ガイドの一部としての SAP Business AI ソリューションのポジショニングからの参照「SAP Learning Journey SAP Business AI と Generative AI によるクラウド変革ジャーニーの促進」の、SAP Signavio、Build Process Automation、ABAP Cloud における Generative AI に関するユニットから派生しています。S/4HANA 移行のための Generative AI に関する SAP コミュニティブログと SAP ヘルプポータルでサポートされており、クラウド ERP 変革ツールの C_BCBAI_2502 認定資格と連携しています。

有効的な **C-BCBAI-2509** 問題集は JPNTTest.com 提供され、**C-BCBAI-2509** 試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.com は今最新 **C-BCBAI-2509** 試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-BCBAI-2509 試験問題集はもう更新されました。ここで **C-BCBAI-2509** 問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-BCBAI-2509-mondaishu> **62**問、**30%**ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

SAP Document AI の価値提案にはどのようなものがありますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. スケーラビリティとコンプライアンス
- B. 安全でコンプライアンスに準拠したフレームワーク
- C. エンタープライズグレードのオーケストレーション
- D. 事前設定されたコンテンツ

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Document AI は、SAP Business AI のドキュメントに記載されているように、拡張性とコンプライアンス、そして安全でコンプライアンスに準拠したフレームワークなど、重要な価値提案を提供します。拡張性とコンプライアンスにより、Document AI は GDPR などの規制基準に準拠しながら大量のドキュメントを処理できるため、エンタープライズ環境に適しています。安全でコンプライアンスに準拠したフレームワークは、暗号化やアクセス制御などの堅牢なセキュリティ対策を提供し、ドキュメント処理中に機密データを保護します。これらの機能により、企業は信頼性とコンプライアンスを維持しながら、ドキュメントから効率的に洞察を引き出すことができます。エンタープライズグレードのオーケストレーションは Generative AI ハブとより密接に連携しており、事前設定されたコンテンツは Document AI の主要な価値提案ではありません。これらの機能により、SAP Document AI はドキュメント集約型プロセスのための強力なツールとなっています。

参照:

質問: 18

SAP Business AI では、顧客データを保護するための安全対策にはどのようなものがありますか？

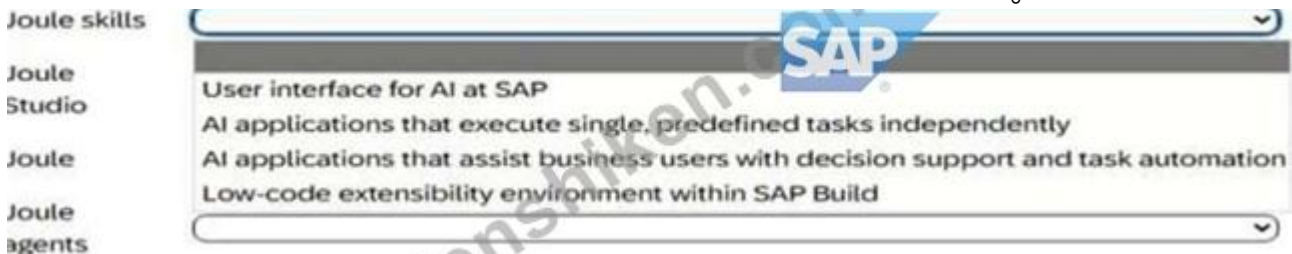
注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. テナント分離
- B. クリーンコアメンテナンス
- C. 持続可能性
- D. SAPホスト型AIインフラストラクチャ
- E. 同意に基づくモデルトレーニング

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 19

左側のコンポーネントをドロップダウン リストの定義と一致させます。



- A. Joule → SAPのAI向けユーザーインターフェース
- B. ジュールエージェント → 意思決定支援とタスク自動化でビジネスユーザーを支援するAIアプリケーション
- C. Joule Studio → SAP Build内のローコード拡張環境
- D. ジュールスキル → 単一の定義済みタスクを独立して実行するAIアプリケーション

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 20

自律型 AI エージェントが互いを検出し、タスクを委任し、プラットフォーム間で共同作業できるようにするプロトコルはどれですか？

- A. エージェントからオーケストレーターへ (A2O)
- B. モデルコンテキストプロトコル (MCP)
- C. エージェントハブ
- D. エージェント2エージェント (A2A)

正解: D ([コメントを發表する](#))

Agent2Agent (A2A) プロトコルは、自律型 AI エージェントが互いを発見し、タスクを委任し、プラットフォーム間で連携することを可能にします。詳細は SAP Business AI ドキュメントに記載されています。このプロトコルは、AI エージェント間の直接的な通信と連携を促進し、SAP エコシステム内およびエコシステム間でタスクとデータをシームレスに共有することを可能にします。これにより、複雑なワークフローにおける効率的で分散化された連携が実現します。Agent-to-Orchestrator (A2O) プロトコルは、エージェント間の直接的な連携ではなく、オーケストレーショ

ンに重点を置いています。Model Context Protocol (MCP) と Agent Hub は、この目的のために SAP フレームワークで定義されたプロトコルではありません。A2A の設計は、スケーラブルで自律的な AI 運用をサポートし、企業の俊敏性と相互運用性を向上させます。

質問: 21

Joule とどのように連携して、生産性と意思決定を向上できますか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 情報
- B. 従来型
- C. 分析的
- D. ナビゲーション

正解: **A,C,D** ([コメントを發表する](#))

SAPのAIコパイロットであるJouleは、複数のインタラククションモードを通じて生産性と意思決定を向上させます。情報インタラククションでは、ユーザーはSAPシステムからデータとインサイトを取得し、関連情報に迅速にアクセスできます。分析インタラククションでは、Jouleのデータ分析、レポート生成、予測的なインサイト提供の機能を活用し、情報に基づいた意思決定を支援します。ナビゲーションインタラククションは、ユーザーがSAPアプリケーションを効率的に操作できるように支援し、ワークフローを合理化し、システムインタラククションに費やす時間を短縮します。これらの機能の詳細は、SAP Business AI Jouleユーザーガイドに記載されており、ビジネスプロセス全体の効率向上におけるJouleの役割を強調しています。従来型インタラククションはSAPのフレームワークでは認識されておらず、教育インタラククションはJouleによって明示的にサポートされていません。これらのインタラククションタイプを組み合わせることで、ユーザーはよりスマートかつ迅速に作業できるようになります。

参照 :

質問: 22

(Joule は、ユーザーによる SAP ビジネス システムとのやり取りにどのような革命をもたらしましたか? 注: この質問には 3 つの正解があります。)

- A. より良い結果
- B. より良いコントロール
- C. 完璧な予測
- D. よりスマートな洞察
- E. より速い作業

正解: ([正解を表示します](#))

Exact Extractからの包括的かつ詳細な説明 :Jouleは、企業間連携のAIエージェントによる優れた成果の提供、コンテキストウェアでデータに基づいた応答によるよりスマートなインサイトの提供、タスクの合理化とプロセスの高速化による業務効率の最大80~90%向上により、SAPビジネスシステムとユーザーとのインタラククションに革命をもたらします。これらの機能は、完璧な予測や制御の強化を主要な革命として主張することなく、生産性、意思決定、効率を変革します。

これを裏付ける正確な抜粋:

『Joule は、SAP ビジネス システムとのやり取りに革命をもたらし、あらゆるタッチポイントを重視し、すべてのタスクを簡素化します。』help.sap.com

「より速い作業: AI でタスクを効率化...」learning.sap.com 従業員の仕事効率を 80% 向上」community.sap.com より良い成果とよりスマートな洞察のために: 『Joule の協調的 AI エージェントがビジネス全体で連携し、企業間をまたいだ接続された成果をもたらす』および 「インテリジェントな提案を提供する」news.sap.com sap.com その他の選択肢は、次の理由で正しくありません。

オプション B: より優れた制御は革新的な側面として強調されていません。Joule は、ユーザー制御の向上ではなく、簡素化と自動化に重点を置いています。

オプション C: 完璧な予測は要求されません。SAP Business AI は、絶対的な予測よりも、信頼性の高い、データに基づいた洞察を優先します。

SAP Business Suiteドキュメントまたは学習ガイドにおけるSAP Business AIソリューションのポジショニングに関する参考資料 :SAP製品ページ SAPのJoule Copilot」およびSAPラーニングコース「SAP Business AIの理解」に基づき、作業の高速化、よりスマートな洞察、より優れた成果といった主要機能を解説しています。SAP Business SuiteのインタラクションにおけるJouleの変革的役割を明確に示すため、C_BCBAI_2502認定資格にJouleに関するSAP News記事も掲載されています。

質問: 23

すぐに使用できるジュール剤の特徴は何ですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 複雑な複数ステップのワークフローを自動化します。
- B. 正確性と信頼性を保証します。
- C. ビジネス機能全体で連携します。
- D. 長期的な記憶と学習を可能にします。
- E. コンテキストに応じた洞察と推奨事項を提供します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 24

SAP を使用したカスタム AI 導入 (CAIA) における正しい手順は何ですか?

Create a proof of concept

Deliver and operate scenarios

Re-imagine critical business process

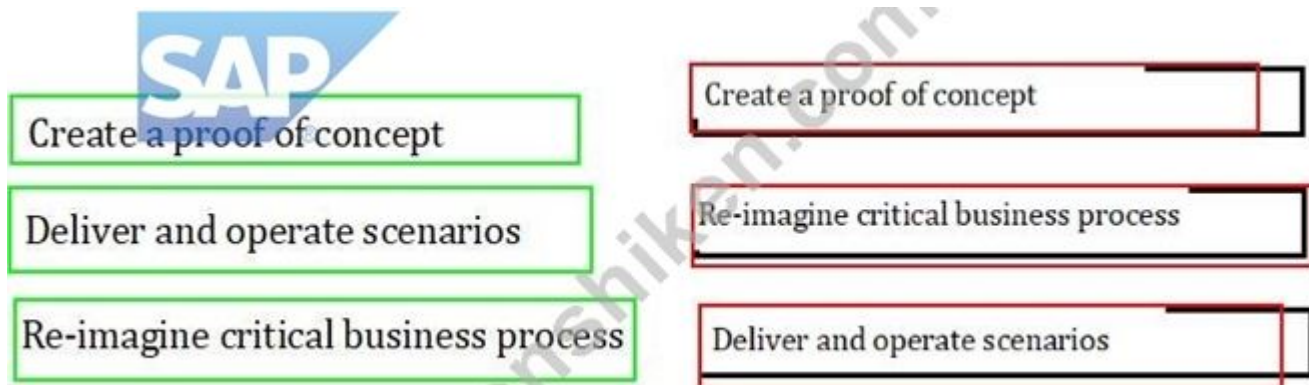
Step 1

Step 2

Step 3



正解:



質問: 25

Joule はどのような種類のエージェントを統合しますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. コンテンツベースのエージェント
- B. 製品固有のエージェント
- C. 検索強化エージェント
- D. コードベースのエージェント

正解: B,C ([コメントを发表する](#))

Jouleは、SAP Business AIドキュメントに記載されているように、製品固有のエージェントと検索拡張エージェントを統合しています。製品固有のエージェントは、SAP S/4HANAやSAP SuccessFactorsなどの特定のSAPアプリケーションに合わせてカスタマイズされ、専門的な機能を提供します。検索拡張エージェントは、生成AIとデータ検索機能を組み合わせ、エンタープライズデータにアクセスすることで、正確でコンテキストに応じた応答を提供する能力を強化します。コンテンツベースおよびコードベースのエージェントは、SAPのJouleフレームワークでは明示的に定義されていません。これらの統合エージェントタイプにより、JouleはSAPエコシステム全体にわたってターゲットを絞ったインテリジェントなサポートを提供し、生産性と意思決定を向上させます。

質問: 26

SAP の責任ある AI フレームワークに含まれるのは次のうちどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 倫理的なガバナンス
- B. 人間中心設計
- C. ESGレポート
- D. SAPグローバル人権コミットメント
- E. 透明性と説明責任

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 27

生成 AI ハブの価値提案にはどのようなものがありますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. ビジネス文書のスケーラビリティとコンプライアンス
- B. 安全でコンプライアンスに準拠したフレームワーク
- C. 事前設定されたコンテンツ
- D. エンタープライズグレードのモデルのオーケストレーション

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 28

SAP の倫理的 AI に関する指針の主なドメインクラスターは何ですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 組織実践
- B. AIシステム定義
- C. AI倫理運営委員会
- D. エグゼクティブスポンサーシップ
- E. AIシステムエンジニアリング

正解: A,B,E ([コメントを发表する](#))

質問: 29

責任ある AI の構築と運用に対する SAP の取り組みに関係する要素は次のうちどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 最適化されたAIモデルのサイズとルーティング
- B. 再生可能電力のみで稼働するSAPデータセンター
- C. 倫理的なAIガバナンス
- D. アジャイルエージェントAIの普及
- E. クリーンなコア準拠の拡張機能とプロセス設計

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 30

SAP の責任ある AI フレームワークに含まれるのは次のうちどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. SAP グローバル人権コミットメント
- B. 透明性と説明責任
- C. ESGレポート
- D. 倫理的なガバナンス

正解: ([正解を表示します](#))

SAPの責任あるAIフレームワークには、SAPのドキュメントに記載されているように、SAPグローバル人権コミットメント、透明性と説明責任、そして倫理的ガバナンスが含まれています。SAPグローバル人権コミットメントは、AIがグローバルスタンダードに準拠し、人権を尊重することを保証します。透明性と説明責任は、AIプロセスと意思決定を明確に文書化することを義務付け、信頼

を育みます。倫理的ガバナンスは、公平性を確保し、偏見を軽減し、規制を遵守するためのポリシーと監督を確立します。ESGレポートはSAPのサステナビリティへの取り組みの一環ですが、責任あるAIフレームワークの中核要素ではありません。また、人間中心設計は原則ではありますが、明示的には記載されていません。これらの要素により、SAPのAIソリューションは信頼性が高く倫理的なものとなっています。

質問: 31

左側のコンポーネントをドロップダウン リストの定義と一致させます。

- A. ジュールスキル → 単一の定義済みタスクを独立して実行するAIアプリケーション
- B. Joule Studio → SAP Build内のローコード拡張環境
- C. Joule → SAPのAI向けユーザーインターフェース
- D. Joule エージェント → 意思決定支援とタスク自動化でビジネスユーザーを支援する AI アプリケーション

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Business AI ドキュメントでは、これらのコンポーネントを次のように定義しています。Joule スキルは、データ抽出や単純な計算など、事前定義された単一のタスクを独立して実行する AI アプリケーションです。Joule Studio は、SAP Build 内のローコード拡張環境であり、ユーザーは最小限のコーディングでカスタム AI アプリケーションを作成できます。Joule は SAP AI のユーザーインターフェースとして機能し、AI 機能进行操作するための直感的なプラットフォームを提供します。Joule エージェントは、ビジネスユーザーの意思決定支援とタスク自動化を支援し、複雑なワークフロー全体の生産性を向上させる AI アプリケーションです。これらの定義は、SAP エコシステム内で AI 主導の価値を提供する上で、各コンポーネントが果たす明確な役割を強調しています。

有効的な**C-BCBAI-2509**問題集はJPNTTest.com提供され、**C-BCBAI-2509**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**C-BCBAI-2509**試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-BCBAI-2509試験問題集はもう更新されました。ここで**C-BCBAI-2509**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-BCBAI-2509-mondaishu> **62問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 32

(SAP BTP が AI の使用において独自の位置を占めているのはなぜですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。)

- A. LLM を柔軟に選択できます。
- B. あらゆるサードパーティ製ソフトウェア ソリューションとシームレスに統合されます。
- C. オープンソースの LLM の使用に最適化されています。
- D. ビジネス アプリケーション向けに垂直に最適化されています。
- E. エンタープライズ ワークフロー全体に総合的に統合されます。

正解: A,D,E ([コメントを發表する](#))

Exact Extractによる包括的かつ詳細な説明 :SAP BTPは、主要な大規模言語モデル (LLM) の選択と切り替えにおいて高い柔軟性を提供し、垂直ビジネスアプリケーション向けに最適化されて業務効率を高め、エンタープライズワークフロー全体にわたる包括的な統合によってビジネスプロセスをシームレスに自動化・変革できるため、AI活用において独自の地位を確立しています。これらの機能により、SAPデータとSAP以外のデータの両方を活用しながら、エンタープライズ標準との整合性を維持しながら、ビジネスニーズに合わせてAIソリューションをカスタマイズできます。これを裏付ける正確な抜粋:

LLMの柔軟性 : SAP BTPは、Amazon Bedrock、GoogleのGeminiモデルファミリー、Azure OpenAIなど、合計22種類の優れたLLMを備えた革新的なモデルにアクセスし、あらゆる主要なフロンティアモデルをシームレスに切り替えることを可能にします。また、BYOM (Bring Your Own Model) をサポートし、Generative AI Hubを通じてAIモデルへの柔軟なアクセスを提供します。これには、すぐに使用できるコンピューティングリソースとオーケストレーションモジュールの選択が含まれます。」[learning.sap.com](#) ビジネスアプリケーション向けに垂直に最適化 : SAP BTP は、ビジネスアプリケーション向けに垂直に最適化されています。SAP Datasphere、SAP HANA Cloud、SACなどのコンポーネントを活用して、AIを活用したデータアプリケーションを開発します。高度なマルチモーダル分析と最適化されたデータおよびユーザー管理により分析の深度を高め、Jouleやドキュメント情報抽出などのSAP AI for Businessをサポートすることで、SAPインタラク션을革新し、開発者の効率を最適化します。」[learning.sap.com](#) エンタープライズワークフロー全体にわたって包括的に統合 : SAP BTPは、お客様がSAP Build、SAP Signavio、AI、生成型AIを活用してビジネスプロセスを自動化・変革し、業務全体の効率化とイノベーションを推進します。また、複数のAIモデルの実行をオーケストレーションし、データフローを管理し、計算リソースを最適化することで、AIアプリケーションのエンドツーエンドのライフサイクルを合理化・自動化します。[learning.sap.com](#) さらに、SAP BTPは、SAP標準に準拠したシームレスで変更不要の統合と自動化のためのツールを備え、SAPコアとの緊密な統合を実現します。完全なマスターデータ統合、単一のドメインモデル、ライフサイクル管理のための安定したAPI、そしてあらゆるメタデータとデータへのアクセスを提供し、SAPのビジネスプロセスへの緊密な統合を実現し、業務効率を向上させます。」[learning.sap.com](#) その他の選択肢は、以下の理由で誤りです。

オプション B: SAP BTP は SAP および SAP 以外のデータと統合され、サードパーティの機能強化のためのパートナー エコシステムを備えていますが、統合は汎用性ではなく互換性と特定のAPI に依存するため、あらゆる「サードパーティ ソフトウェア ソリューションとシームレスに統合されるわけではありません。

オプション C: SAP BTP は、オープンソース モデルの構築を開始点として挙げていますが、オープンソース LLM 向けに特別に最適化されているわけではなく、ハイパースケーラーの幅広い独自モデルとフロンティア モデルに重点を置いています。

SAP Business Suiteドキュメントまたは学習ガイドにおけるSAP Business AIソリューションのポジショニングに関する参照 :この情報は、SAP Learning Journey SAP Business AIとGenerative AIによるクラウド変革ジャーニーの促進」、特に カスタムSAP Business AIソリューションの構

築」ユニットから直接引用されており、SAP Business SuiteにおけるAIの中核プラットフォームとしてSAP BTPを位置付けています。また、ビジネスAIソリューションの位置付けに関するC_BCBAI_2502認定資格資料と連携し、AI統合におけるBTPの役割を強調したSAPコミュニティブログや製品ページも参考になります。

有効的な**C-BCBAI-2509**問題集はJPNTTest.com提供され、**C-BCBAI-2509**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**C-BCBAI-2509**試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-BCBAI-2509試験問題集はもう更新されました。ここで**C-BCBAI-2509**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-BCBAI-2509-mondaishu> **62問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」